

第26回技術講習会

メインテーマ:「未来を見つめて」 ～次世代のために私たちができること～

日時：平成11年1月30日(土) 14:00～18:00 (12:30受付)
場所：同仁堂ホール(同仁堂上通り店4階)
受講料：無料(どなたでも聴講できます)

環境ホルモンを探る 座長：有松 徳樹 先生 银杏学園短期大学教授

1. 環境汚染化学物質の歴史 —基礎と科学—

講師：中熊 秀光 先生

熊本市立西保健所保健予防課(元熊本市環境総合研究所保健科学課)

内容:レイチェルカーソン女史による「沈黙の春」から、「環境ホルモン」という言葉を世界中に広めた昨年(98年)のシーア・コルボーン博士らによる「奪われし未来」まで、環境汚染化学物質の歴史を通じて、「無作用量」、「発ガン性」、「催奇性」、「生体濃縮」などの基礎的な言葉や化学物質の名前の由来などをわかりやすく説明していただきます。

2. 母体の複合汚染と胎児・乳児への影響の可能性

—ダイオキシンと農薬を中心として—

講師：長山 淳哉 先生

九州大学医療技術短期大学助教授

内容:環境ホルモンは体内のホルモン系を攪乱することにより、その作用を発現する。そうすると、ホルモンなどによる微妙なバランスのもとで発生・分化し、かつ成長の著しい胎児期と乳児期がまず最初に影響を受けるであろう。母胎汚染が問題となる所以である。ここではダイオキシン類と農薬を中心とし、新しい環境ホルモンについて、またその対策として私たちレベルでできることについてもお話していただきます。

特別講演:ダイナミックな胎児から新生児への変身と検査

講師：近藤 裕一 先生

熊本市立熊本市民病院新生児医療センター部長

内容:小さくアクセスの難しい新生児・未熟児にも成人と同じようなICUケアを行うようになり、新生児医療は大きな成果を上げています。しかし、母胎依存の生活から一瞬にして子宮外の環境に適応していく新生児には、ただ小さいだけではない、考慮しなければならない点が少なくありません。この変化する周産期を、未熟児・新生児の検査を中心に紹介していただきます。

《関連行事》

同窓会総会 時間：13:20～13:50

場所：同仁堂ホール(熊本市上通り2-7)

野中先生慰労会ならびに懇親会

時間：18:30～(18:15受付)

場所：アークホテル(熊本市城東5-16)

会費：3,000円

银杏学園短期大学

同窓会共催公開講座

担当:银杏学園短期大学13回生(昭和58年卒)

